

小さなエコの大きな意味と信仰



すべてのいのちを守るために

吉川 まみ
上智大学教授

服との絆を

10

サステナブルファッションで

今回は、四旬節のささやかな炭素断食のために、いま日本が取り組む「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」に「デコ活」の中のエコがけ〜をご紹介します。

2月には「デコ活」の「くらしの10年ロードマップ」が発表され、衣食住・職・移動・買い物など分野ごとに暮らしの全領域の新たな在り方に向けた具体的な課題が示されました。

今回は、この連載の前半（第4回／2023年9月17日付掲載）に取り上げたファストファッション問題について、デコ活の衣生活分野を参考にしながら取り組みをご紹介します。

ファストファッションと

自然環境・弱者への負荷

ファストとは「早い・安い・手軽」などという意味で、ファストファッションとは、最新流行の衣料品を低価格で短いサイクルで次々

業界全体が連携し、産業活動によるCO₂排出量削減に向けて取り組むための枠組みです。

一方、ファストファッション業界の大量消費を担う消費者としての私たち。日本人の年間平均で1人当たりの洋服購入枚数は18枚。うち15枚を廃棄し、洋服ゴミが再資源化されるのは5%ほどです。

これらを踏まえたデコ活ロードマップの衣分野では、クールビズ・ウォームビズの実践や、「サステナブル（持続可能な）ファッション」への取り組みが提示されています。

「サステナブルファッション」とは

「サステナブルファッション」とは、環境省によれば「衣服の生産から着用、廃棄に至るプロセスにおいて将来にわたり持続可能であることを目指し、生態系を含む地球環境や関わる人・社会に配慮した取り組みのこと」。

デコ活ロードマップでは、素材や生産ルート等を確認し、生産時CO₂排出量が少なく環境負荷の小さな衣類を選択する、リペア（修繕）の活用で衣服を長く大切に着る、手放す際にはリサイクル・リユースなどの具体的な配慮行動を示しています。

また、フリース素材や起毛素材製品からのマイクロプラスチックファイバー流出を防ぐために専用の洗濯ネットを使うことも推奨されるなど、素材に合ったケア（洗濯・クリーニング）への配慮も求められています。

さらに、私たちがこうした行動の選択ができるよう、環境ラベルや評価指標の活用などによって、さまざまな主体がライフサイクル全体を視野に入れた製品の温室効果ガス排出量、エネルギー使用量、発生廃棄物、使用化学物質など環境負

荷情報を開示できるように促されています。

商品との関わりに表れる自然との関わり

身近な物との関わりには、自身と自然との関わりが映し出されます。どんな物であれ過剰消費と廃棄を抑えることが何よりも大切なエコ実践の原点。サステナブルファッションでは、持っている服を長く大切にすることを重要なテーマの一つとしています。

環境省によれば、今ある服を今年捨てずにもう1年長く着れば、日本全体で約3万トンの廃棄削減につながります。また、私たちは1年間に約2着をリペア（修繕）し、約15着の服を手放しています。もしリペアする服を8倍に増やせたら、家庭から廃棄される衣服はゼロになるかもしれません。

今、自分の手元にある衣服で、捨てなくなっている物はあるでしょうか。今持っている服を長く大切にするための具体的な「エコ実践」として、近年、リペアやリメイク以外に、カーシェアリングのようにファッションスワップ（衣服交換会）も始まりました。

自分の手でボタンを付け替えるシャツの意味

大量生産で画一化された商品がすぐに飽きてしまいがちですが、ボタンを付け替えたり、ほつ

し自分で手間暇をかけたたりすることで、自分と服との間に特別な関わりが生まれます。もう要らなくなった服を捨てるべきではないと、頭で「べき論」を思い浮かべても実践は難しいけれど、不要になった物に手を加えて、捨てたくない一着にすることは可能です。

ファストファッションに自分だけの意味や価値を付与する具体的な手仕事は、神から頂いた自然の恵みへの感謝の具体的な表現の一つになり得るでしょう。このように自分と服の関わりに新しい絆を結ぶところに、サステナブルファッションの心があると思います。被災地の一日も早い復興とインテグラルエコロジーへの歩みを願い、共に素晴らしいご復活を迎えましょう。

《参考サイト》

- ・環境省「デコ活」の「くらしの10年ロードマップ」(https://www.env.go.jp/press/press_02781.html)
- ・環境省「サステナブルファッション」(<https://www.env.go.jp/policy/sustainable-fashion/index.html>)
- ・消費者庁「サステナブルファッション」習慣の「よめ」(<https://www.ethical.caa.go.jp/sustainable/>)



今ある服を今年捨てずにもう1年長く着れば、日本全体で約3万トンの廃棄削減につながります。

一着の服を長く着ることがサステナブルファッションにつながるよと説いている。出典：環境省ホームページ(https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/index.html)